

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 17 号 (9 月 13 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区新人 何とか県への切符つかむ

9 月 10 日 (土) 11 日 (日) 落合にあります市スポーツセンター (通称スポセン) にて地区新人大会が開催されました。選手権大会に向け、まだ 3 年生を残したチームがあるなかですので、この時期新人チームを鍛えることは難しいのですが、山形東は早々と新人チームでチーム作りを進めている関係上、他チームよりも有利な立場に立っている (というか、一歩先んじていることを試合で見せなければならぬ)。近年の傾向として、山形南や山形東は新人大会の方が好成績を示しているが、それは当然というもの。ただ、強豪チームは県リーグに B チームも登録し 3 部や 4 部に所属して 1、2 年生主体のチームで戦っているため、徐々に進学校有利の構図は消えつつあるか。ともかく、初日 2 連勝で県新人への切符は何としてもつかみ、安心して二日目を迎えたい。

初戦、山形明正との対決。3 年生チームとは練習試合をやったことがあるのですが、そもそもその試合を顧問が見ていないのと、新人チームであるのとで、どういうチームか皆目分からない。出たところ勝負で試合に臨むと、早々に得点することができ、左サイドのマンサクが小憎らしいボールタッチから追加点を決めるなど、終始山東ペース。前半 3 得点。時折、明正の鋭い攻撃を受けるも、DF が粘り強く対応し、相手の攻撃を単発で終わらせることに成功。結局 5 - 0 で勝利。8 人を交代させることができ、同日行われるブロックトーナメント決勝に余力を残すことに成功。ここが勝負の分かれ目でした。

二戦目の相手は明新館高校。現在 Y2 で上位争いをしているチーム。Y2 での成績は 3 年生の力に因るところもあるでしょうが、現在の 2 年生は人数が多く「数は力」(明新館 S 監督) であり、新人チームも要警戒の相手。試合が始まると、早々に明新館ペース。山東のサイドバック (以下 SB) とセンターバック (以下 CB) とのギャップにスピードのある選手が入り込み、山東の DF ラインが下げさせられ、セカンドボールも明新館の DF や MF に落ちてさばかれて、手厚く攻められてしまう。山東は、中盤でボールを奪われずに保持でき、パスミスが少ない選手がいないため、攻撃に安定感がない。明新館は出足が良く、前の試合で PK 合戦まで行った疲れが全く見られない。前半はこらえて 0 - 0 でハーフタイムを迎える。「明新館は強い!」という意識を共有させ、何があっても焦らない意思統一をはかって後半に向かわせる。後半も明新館ペース。山東は攻撃の選手の出来が特に悪く、ここ最近山東の攻撃をけん引してきたゴメも自分の出来の悪さに気持ちが切れかけている。そんな中、ボランチのシュートが粘ってドリブルしてからのスルーパスを右 MF のリクが落ちついてゴールに流し込み、劣勢の山東の先制。劣勢でも勝ちを手繰り寄せることができれば大したものだ、と安堵していると、その少し後に、(今大会非常に安定感のあった) GK 坂口のセーブしたボールが CB の手に当たったという判定により、PK を与えてしまう。CB に

試合後に聞くと「手に当たっていない」とのことだし、何より GK が弾いたボールを至近距離にいた CB が交わせるわけがない。ハンドリングの判定基準は、単純に手に当たったか否か、ではなく、意図的に触ったか否か、ですので、ハンドの判定は不可解。ただし、山東も直近の Y1 で、PK 相当のプレーをノーファールにしてもらっているので、判定への不平不満ばかりでは不公平。難なく PK を決められ、1 - 1 の同点に。30分ハーフのゲームだけに、PK 合戦の可能性が濃厚となってくる。そして、アディショナルタイムに入り、CK をゲット。なぜか、顧問今野、そして後で聞きましたが、顧問志村も、「この CK、大チャンス」と感じておりました（後付けではありません・・・よ）。左からの CK は、幾人もの頭を経て、ファーサイドにいるボランチショータの足元に転がってきたのだから、幸運です。角度はなかったですが、ゴールの至近距離からファーサイドのネットに蹴り込み（というか押し込み）2 - 1 の勝ち越し。そして、それが劇的「サヨナラ勝ち」となる。とてつもなく苦しい試合でしたが、後半徐々に、2 試合をフルに戦っている明新館の選手の足が止まり始めて、1 試合目に交代で休んだ山東の選手との差が出てきたところに、勝負の分かれ目があったと思われます。正直、この試合の実質的な（内容的な）勝者は、明らかに明新館でした。ともかく初日で県新人の切符をつかみ、一安心。3 年生もほとんど全員が応援に駆け付け、試合後は現役生と勝利の余韻に浸っている。やはり後輩の活躍はうれしいのだろうし、それより何より、勉強机の前よりもサッカー場にいたいのでしょう・・・気持ちはわかる。

11 日準決勝の相手は、山形中央。現在の Y1 でもほぼ新人チームで戦っており、新人チームは間違いなく強い。試合が始まると、相手 CB の隙についてゴメが早々に先制するも、本当に本当にその直後、山形中央キックオフから 10 秒かからないうちに同点ゴールを許す稚拙さを見せる。その後も、山東 CB に対して山形中央 FW をぶつけてくる予想通りの戦術で押し込まれ、巧みな MF にボールを散らされて、強靱な CB にボールを弾き返され、あまり良いところなく、1 - 3 で敗北。

県新人の第 4 シード権をかけた 3 位決定戦¹の相手は、日大に敗れた山商。山東は技術のある山商を粘り強いプレッシャーで抑え込み、山商の長所を消したいところ。試合の入りは悪くはない。しかし、徐々に山商のボールポゼッションを許す展開となり、結局 0 - 2 の完敗。悔しいのは当然なのですが、一失点目の山商 FW の仕掛けとフィニッシュが素晴らしく、山東ベンチで「いや～スバラシイ、スバラシイ」と連呼してしまいました。敵ながら天晴れ！！ 2 連勝後 2 連敗（後藤報道局長の表現では、その後の練習試合も含め 3 連敗）にて地区新人は終了、一年間保持していた地区新人の優勝カップを返還（保持していたことを忘れていました、ゴメンヨ 3 年生）。

OB の皆さま、保護者の皆さま、地区新人では暑く日差しの厳しい中、応援ありがとうございました。県新人では、少しでも成長した姿をお見せしたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。その前に、県リーグがありますので、こちらもよろしくをお願いします。

9 月 17 日（土） Y1 鶴岡工業戦 12:00 ~ @日大山形 G

9 月 19 日（月） Y1 山形商業戦 10:00 ~ @山形商業 G

9 月 23 日（金） Y1 最終節 山形中央戦 10:00 ~ @山形中央 G

山形中央戦は、当初 9/24 でしたが、変更となりましたので、ご注意を！！！！

また別紙のように、選手権・県新人の組合せが決まりました。ご確認ください。

¹ シード権をかけた戦いではありますが、地区新人の 3 位は例年 2 チームであり（3 位決定戦は行わないことになっており）地区新人の 3 位同士が第 4 シード獲得決定戦を行った、というのが正しい表現です。